

2025 年 9 月 17 日

金融機関固有の ID を用いた API 管理を可能にし、ID 統合戦略を支援 ～API 公開基盤「Resonatex」に、専用環境 ID 基盤「ホワイト ID プラン」と パスワードレス認証「パスキー認証オプション」を追加。百五銀行で採用が決定～

BIPROGY は、API 公開基盤「Resonatex（レゾナテックス）」のサービスを拡充し、新プラン「ホワイト ID プラン」と、オプションサービス「パスキー認証^(注1) オプション」を 2025 年 10 月 1 日から販売開始します。

「Resonatex」は、API マネジメントと ID 認証管理の機能により、金融機関におけるオープン API^(注2) をセキュアに実現するサービスです。「Resonatex」では従来、API 実行時の認証・認可^(注3) に BIPROGY が発行と管理を行う共通 ID「AduME（アヅミ）」^(注4) を用いる「AduME プラン」を提供していましたが、新たに、認証・認可に金融機関固有の ID を用いることができる「ホワイト ID プラン」を提供します。

「ホワイト ID プラン」は、ID 基盤を専用環境（シングルテナント）で提供するため、金融機関における ID 管理の自由度が高く、自社ブランドを冠した ID の発行やマーケティング、サービス改善など、ID 戦略に合わせた柔軟な活用が可能です。また、認証を強化するサービスとして提供する「パスキー認証オプション」は、パスワードレス認証によりユーザビリティ向上を図るとともに、セキュリティ強化によるフィッシング詐欺の対策強化を可能にします。

なお、「ホワイト ID プラン」と「パスキー認証オプション」は、先行導入行として百五銀行での採用が決まっています。百五銀行での本番稼働は、26 年度上期を予定しています。

【背景】

金融機関においては、フロントチャネルや非対面サービスの拡大に伴い、Web やアプリ、店舗などに分かれていた顧客接点を、ID で一元化する動きが加速しています。さらに、法規制の強化やサイバー攻撃の高度化といった外部環境の変化も、ID の在り方に影響を与えています。

そこで、BIPROGY は、ID 管理を取り巻く課題と環境の変化に対応し、金融機関が自社サービスに最適な ID 基盤を選択できるよう、「Resonatex」に新たなプランとオプションサービスを設けました。

【サービスの概要】

「Resonatex」は、API マネジメントと ID 認証管理の機能を組み合わせ、金融機関の持つ勘定系などの基幹システムと、Fintech 企業などが提供するフロントサービスをセキュアに連携するサービスです。

金融機関はセキュリティを確保した金融サービスを短期間で提供できるとともに、生活者は安心してバンキングアプリなどの利便性の高い金融サービスを利用することができます。

2017 年の提供開始以来、20 以上のフロントサービスと連携し 15 行庫の地方銀行と信用金庫で採用されており、100 万人以上の生活者に利用されています。

「Resonatex」の、新サービスの概要は以下の通りです。

・「ホワイト ID プラン」

ユーザーが、バンキングアプリやお財布アプリなどのフロントサービスを通じて、残高照会などの口座操作を行う（API 実行をする）際の「認証・認可」に、金融機関固有の ID を用いることができるプランです。専用の ID 基盤を提供するため、自社ブランドを冠した ID を発行できる

など各種カスタマイズの自由度が高く、この特徴から「ホワイトラベル」に由来する名称を採用しています。

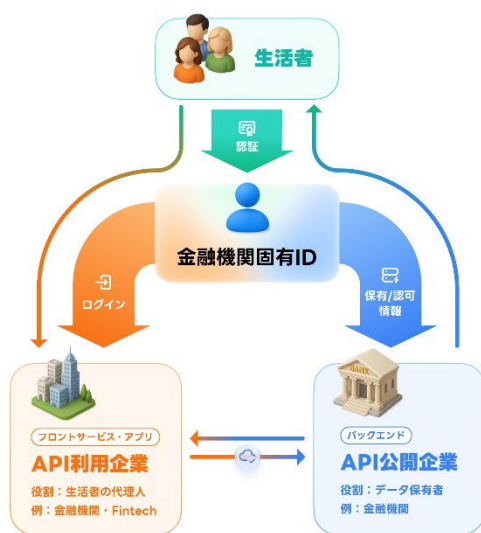
低コスト、早期立ち上げに強い「AduME プラン」と比較して、金融機関における自社ビジネス拡大に強いプランとなります。

一般的に、API 実行時の認証・認可に金融機関固有の ID を用いる場合は、専用の API 基盤の構築と併せて大規模なスクラッチ開発が必要となりますが、「ホワイト ID プラン」では、API 基盤として「Resonatex」が持つ共通基盤を用いることで、SaaS 型サービスとして低コストでの提供を実現します。

また、採用が決定している百五銀行では、「ホワイト ID プラン」を利用して、百五銀行の展開する、バンキングアプリをはじめとした各種 Web サービスの ID を統合することを構想しています。ID を統合することにより、ユーザーのログインやパスワード管理の手間を減らすとともに、ユーザーの情報を一元的に管理し、銀行グループ体営業を推進していくことを目指しています。

・「パスキー認証オプション」

ID 認証にパスキー認証を利用することができるオプションサービスです。パスワードレス対応の認証方式により、ユーザビリティの向上とセキュリティ強化によるフィッシング詐欺対策を可能にします。本サービスは「AduME プラン」、「ホワイト ID プラン」ともに利用できます。



「ホワイトIDプラン」イメージ



「ホワイトIDプラン」と「パスキー認証オプション」の活用例

【今後の取り組み】

BIPROGY は、お客さまごとに最適な ID 基盤を提供し、金融機関のビジネス拡大を後押しするとともに、将来は地域活性化に向けて、その地域の銀行を中心とした、地域企業や公共団体と生活者をつなげるソーシャルログイン ID のような活用の拡大も検討していきます。

以上

注 1：パスキー認証

FIDO Alliance（認証技術の業界団体）と W3C（Web 標準化団体）が策定した国際標準規格「FIDO2（Fast Identity Online 2）」に基づくパスワードレス認証方式です。公開鍵暗号方式（公開鍵と秘密鍵のペアを用い、秘密鍵は端末から外に出ない仕組み）を利用し、スマートフォンの生体認証（指紋や顔など）や物理的なセキュリティキーによって、パスワードを入力せずに安全にログインすることができます。

注2：オープン API

勘定系システムのような、インターネットから切り離されたシステムで保持されている、機能やデータなどの機微なリソースを、インターネット上の Web サービスから API として呼び出すことができるように、安全にインターネット上に公開する仕組みです。

注3：認証・認可

API 公開において必須のセキュリティ機能です。「どのクライアントアプリが、どのユーザーの、どのリソースに対してどのような操作が行えるか」をアクセス制御でコントロールする仕組みです。

注4：AduME（アヅミ）

複数サービスへの認証・認可を一つのアカウントで管理することを可能にする、生活者向けの共通 ID サービスです。BIPROGY がサービス主体としてアカウントを発行・管理しています。

■関連リンク：

オープン API 公開基盤「Resonatex」

<https://www.biprogy.com/solution/service/resonatex.html>

株式会社百五銀行 <https://www.hyakugo.co.jp/>

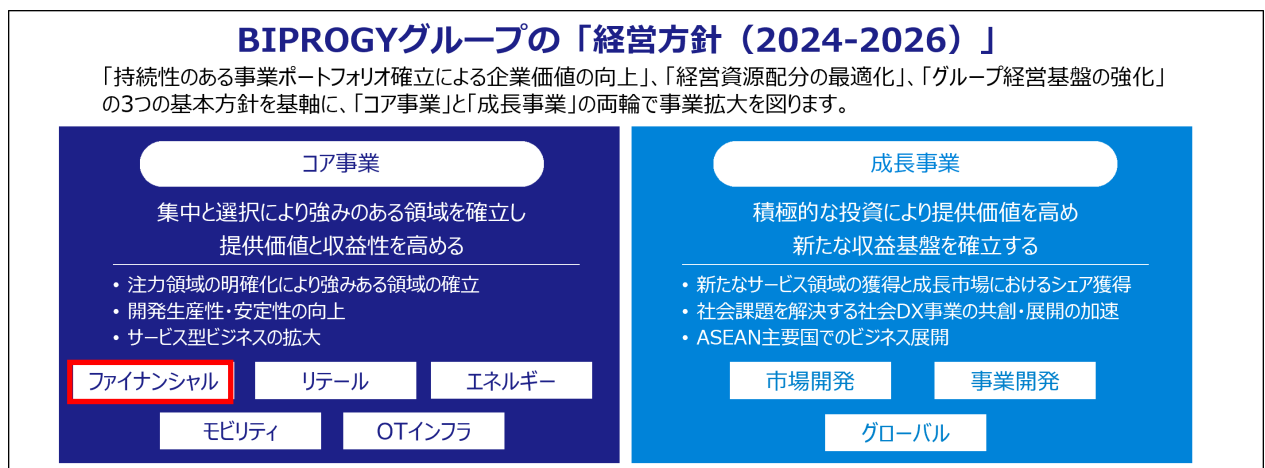
※Resonatex、AduME は、BIPROGY 株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/



【コア事業での取り組み】

BIPROGYグループが経営方針（2024-2026）で掲げるコア事業戦略として、五つの注力領域を定め、経営資源の集中により高い価値提供を目指します。本ニュースリリースの事業は、「ファイナンシャル領域」における取り組みと位置付けています。

BIPROGYグループは、多くのステークホルダーとの共創を通じて、地域経済の活性化を支援し、持続可能な社会の実現を目指します。

※BIPROGYグループ経営方針（2024-2026）

<https://www.biprogy.com/pdf/com/managementpolicy2024-26.pdf>